



京都部会(第 22 回)

日 時: 2013 年 12 月 6 日(金) 19:00~21:00

場 所: 同志社大学 良心館

参加者: 篠原総一(同志社大学)、上畑直久(御池中学校)、西村理(同志社大)、川上敏和(同志社大)
奥村光太郎(伏見中学校)、大谷和海(関西大学中高等部)、絹川温子(同志社大)【順不同】

【内容要旨】

- (1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、今まで各部会で報告されてきた教材などを、たとえば教科書の単元ごとに整理して Web にアップする提案がなされた。その際の注意事項として、授業中にそれをどのように使うか、いつ使うかのガイダンスも大切である。さらに、著作権や表現に注意する必要がある。
- (2) 続いて、篠原総一氏の報告によると、来年度の「夏休み経済教室」では 11 月の東京部会の議論を踏まえて、内容については教科書のより丁寧な解説と好評な歴史シリーズに重点をおく方向で準備することになった。さらに、金子幹夫先生(神奈川県立平塚農業高等学校)が「経済教育学会」で報告された「高校生は経済学の用語をどのようにして理解していくのか」と埴先生(都立多摩高校)による法的思考を用いた「民事調停ゲーム」の紹介がなされた。金子先生の報告は経済の仕組みである「分業」と「交換」を基本にして展開されている。また、埴先生の実践事例については、東京部会と同じような意見が述べられた。

(文責: 西村理)

次回開催予定: 2014 年 2 月 21 日(金) 19:00~21:00 (同志社大学 良心館)